



熊本大地震の余震は700回以上と先月号で記述、今や倍ではきかない回数を数え、言葉もない。確かに東北地震のように津波はなく、原発汚染もない。でも被害の大きさや経済損失だけで計れない、長期化すると解決できずにまた新たな災害が起こる?! 日本列島、満身創痕!

クリニックに入院中のM子さん(92才)からハガキを投函して、と頼まれた。手に力が入らないと、震えるような字で書かれた文面に『入院生活は不自由でつらいですが、熊本の方々のことを思えば我慢できます…』と。

## 《サービスの現場から》

認知症がすすんだり、体が不自由になったりして妻を介護している夫や妻を亡くされ独居といった男性からのサービス依頼が結構多い。そんな時気を付けているのが接し方です。

体が不自由な妻の場合夫に面倒をかけている申し訳なさがある(これは夫が妻に看てもらっている場合より難度大かな?)。でも夫にばかり慰労の言葉がけはしないようにしている。介護者は大変ですよ、でも介護される側の心理は複雑ですから。業務だけすればいいのではない、多くを語らず、心は雄弁で、ヘルパーって難しい!

### ②井川さんのこと(年齢は30代?40代?)

一番若い! なかなか高齢者との付き合いは難しいと実感! かな?

喋り方も、だれでもほっとする雰囲気がある。

出会いは楽しいと思ってくれれば嬉しい。

自転車、気をつけて、ガンバレ☆☆☆



### ③三浦さんのこと(年齢は40代)

今年1年生の娘さんはすぐ私にでも手紙を書いてくれる。無邪気。

お兄ちゃんは顔つきが成長を物語っている、もうおばさんを相手にしてくれない、それでいいのだ。そんな子育てをしながら、事務所のことや介護も何でもOK! ありがたいです。

### ④菊地さんのこと(年齢不詳にしておきます)

付き合いは20年以上。ビックリポン! 介護保険の前の時代からよくやってきました。94歳のTさん「あの人は謝ったことがない!」と豪語。でもそのTさんと15年以上のお付き合い。

今度似顔絵を描いてみて、いい(\*^\_^\*)していると思った。

もう少しお付き合いしてください。

